



## 9/8 これからも生き生きとした人生を ～敬老大会～

▶米寿者を代表して謝辞を述べる野田さん(中)と江口さん(右)



荒尾市老人クラブ連合会と市の共催による敬老大会を文化センターで開催しました。今年度は男性95人、女性227人が米寿を迎えます。式典の部では米寿者の表彰と老人クラブ連合会の功労者表彰が行われ、米寿者を代表して野田良光さんと江口三重子さんに記念品が贈られました。アトラクションの部では、野原保育園と桜山保育園の園児によるかわいい遊戯と各地区代表者による歌や踊りの演芸が披露され、会場は大いに盛り上がりました。

## 9/11 秋の大祭に多くの人々が参拝 ～西原大神宮秋季例大祭 にしぼるさん～

▶子どもの健やかな成長を願って祈禱を受ける参拝客



昔から、「子どもの神様」として信仰されている西原大神宮で、秋の大祭「にしぼるさん」が行われました。子どものすじ、ひきつけや夜泣きなどにもご利益があるとされ、健やかな成長を願う子ども連れ姿が多く境内にありました。神の使いとされる鶏の絵が描かれた絵馬に、子どもの年齢と名前を書いて奉納し、成長を願う習わしでも知られています。西原町の尾田千絵美さんは、「家族みんなが健康で幸せに暮らせるよう願いました」と笑顔で話しました。

## 9/13 「ご縁くぐりで」福を引き寄せ ～四山神社秋季例大祭 こくんぞさん～

▶参拝客はそれぞれの願いを込めて「ご縁くぐり」をくぐっていました



「こくんぞさん」の愛称で親しまれる四山神社で秋の大祭が行われ、金運などにも通じる縁起物の「福銭(5円玉)」を求め、多くの人々が訪れました。境内には、福銭をかたどった「ご縁くぐり」も設置され、縁結び・商売繁盛・家庭円満などを祈願してくぐる人の姿も多くありました。増永から訪れた永尾憲子さんは、「運動にもなるので参拝に来ています。家族、友達などの健康を祈願しました」と話しました。拝殿では浦安の舞・豊栄の舞も奉納されました。

## 9/23 宮崎兄弟の軌跡が示す可能性 ～宮崎兄弟の生家施設開館25周年記念講演～

▶宮崎兄弟の面白さを熱く語った猪飼先生



宮崎兄弟の生家施設開館25周年記念イベント第2弾として、講演会「宮崎兄弟 世界をかける」を開催しました。宮崎兄弟の歴史的価値について、荒尾市史編集委員長も務めた日本近代史を代表する研究者・猪飼隆明大阪大学名誉教授が講演しました。市内外から約70人が参加し、時代や地域を超える宮崎兄弟の活動の迫力を実感。「時間が足りない。もっと深く聞きたい」という声も参加者から聞かれるなど、彼らの魅力を再認識する機会となりました。

## 9/23・24 みんなで荒尾干潟の宝を考える ～KODOMOラムサール湿地交流～

▶代表して浅田市長がポスターを受け取り、記念撮影をしました



九州内5カ所のラムサール条約湿地で活動する子どもたちが荒尾市に集まり、KODOMOラムサール湿地交流in荒尾干潟を開催しました。交流会では、各地の子どもたちの干潟に関する活動発表があり、その後は荒尾干潟でマジック釣りなどを体験しました。体験後は、荒尾干潟の「宝」について話し合い、荒尾干潟の6つの宝を組み込んだポスターを完成させました。このポスターは来年度に完成・開館予定の「荒尾干潟水鳥・湿地センター」に展示されます。

## 9/24 梨農家の自信のジャンボ梨が出品 ～荒尾梨品評会～

▶例年と比べて小ぶりですが、甘味は前年並みの仕上がりがります



特産品である荒尾梨「新高」の品質向上とPRを行うため、JAたまなと荒尾梨部会はあらおシティモールで荒尾梨品評会を開催しました。市内の梨農家74軒が自信作を出品し、梨の糖度・硬度・形・食味など品質を競いました。最優秀賞「優等」には藤丸拓也さん(上赤田)、大きさを競う「ジャンボ賞」には藤丸征四郎さん(桜山)の平均1,340gの大玉が選ばれました。会場の外では、梨の試食即売会などのイベントも開催され、多くの人でにぎわいました。

## 9/27 県出身者を含む多くの歌手が来荒 ～NHK「新・BS日本のうた」公開収録～

▶豪華出演者が勢ぞろいした番組オープニング



NHK「新・BS日本のうた」の公開収録を開催しました。熊本出身の石川さゆりさん、水前寺清子さん、原田悠理さん、八代亜紀さんをはじめ7人の豪華出演者が心のこもった歌唱を披露しました。荒尾市盛り上げ隊「炭坑ガールズ」、マジックキー、くまモンも出演し、会場を大いに盛り上げました。観覧者は、「生で素晴らしい歌やトークを聞くことができよかったです」と話していました。収録された内容はNHKのBSプレミアムで放送されました。

## 9/29 台風が影響するも盛大に開催 ～音と光の祭典～

▶笑顔いっぱい司会で会場を盛り上げてくれた一小6年生



一小校区元気づくり委員会は「音と光の祭典」を一小体育館で開催しました。台風の影響で日程が短縮されましたが、市内外から800人以上が来場。童謡や歌謡曲などの音楽を中心としたステージイベント、滔天マルシェ、海陽中生徒がボランティアで制作に携わった竹灯籠の展示などを楽しみました。一小6年生の企画・運営への参画は5年目となり、司会進行やバザースタッフを務めるなど、今や音と光の祭典の開催に欠かすことのできない役割を担ってくれています。